

## 新モビルの無線機

J A 1 W O B 齋藤 章

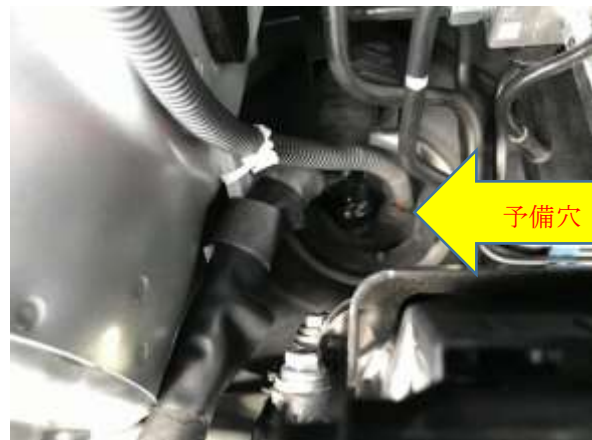
前回のTWO-FORTY誌で新車のナンバープレートの紹介をしました。引き続き、新モビルの無線機設置についての紹介をします。

五十数年前、サニー1000にTR-1000を載せて50MhzのAMモビルを初めて以来、セダン型のモビルであり、今回のルーミー様なボックス型のモビルは初めての事であり、戸惑う事が多々ありました。

まず、電源ケーブルはバッテリーから直節接続する為にはエンジンルームから、車内引き込む為のルートを探る為には、バッテリーに接続してある、ハーネスを辿り、大きなゴムパッキンを経由して、車内に引き込む場所を発見しました。

そこにある予備穴を貫通して電源ケーブルを通す事にしました。

そして車内に引き込む為には、グローブボックスを取り外して、針金でゴムパッキンに開けた予備穴を通してから、電源ケーブルを針金に付けて、ボンネット内に電源ケーブルを通しました。



次に、バッテリーの端子にあるナットでケーブルを取り付ける作業をしていた時に、ボルトについていたナットを外した際に、うっかりエンジンルーム内にボルトを落下してしまいました。

昔の車なら、エンジンルームはスカスカなので、地面に落ちて、「ハイ在りました」で終わりましたが、最近の車のエンジンルーム内は所狭しと、色々な機器があり、オマケにアンダーカバーが付いているので、エンジンルームから地面は見えません。

アンダーカバーを下から手で叩いてみると、何となく、なにか物がある様な、コトコトした音があしました、これはアンダーカバーに落ちているのは間違い無いようです。

エンジンルームの中のアンダーカバー部分に短い棒や手で探ってみましたが、地面に落下する事もなく、手に触れる事也没有でした。

エンジンを掛けてみて、異音などは聞こえないので取り合えず、エンジンや機器に邪魔して無いと思いましたが、精神衛生上良くありません。

インターネットで、調べてみると「マグネットピックアップ」と云う物のがあり1m位のロッドアンテナの先に磁石が付いていて、落下したナットやボルトを取

り出すものだそうです。カー用品店やディーラーには置いてある様  
に書いてありました。

翌日に、職場の事務所へ行って、色々な工具を持っている、同僚の人に話をすると、カバンから即「マグネットピックアップ」を出してくれました。

翌日、早速マグネットピックでバッテリーの下あたりを探ると、カッチトした金属が当たるような音がしたので、引き上げると5mmのボルトが付いていました。大当たりです。良かった。！！



電源ケーブルをバッテリーの端子に接続して、保護用のコルゲートチューブを被せて、エンジンルーム内の配線は完了です。

次に、FT-857本体の電源配線です。エンジンルームから出た電源ケーブルを室内でなるべく見えない様に、する為に、他のハーネスに沿って配線する様にしました。

グローブボックス裏にあるヒューズボックスの下を通して、助手席側のハーネスカバーを外して、その中にケーブルを通して、ハーネスカバーを取付けて助手席シート下まで電源ケーブルを通しました。

これで、室内の電源ケーブルは見えなくなりました。





次にFT857の正面パネルの取り付けです。

旧車のアクシオは、エアコンの吹き出し口にピッタリと、FT857のコントロールパネルの取付けが出来ました。

今回もエアコンの吹き口を考えましたが、なかなかFBな場所がなくて2つある小物入れの幅は、寸法が足りず、直接接続する事が出来なかった。

また、インターネットで調べてみると、発砲スチロールをカットして緩衝材にする方法を見つけて、これを採用する事にしました。

コントロールパネルを取付ける、ホルダーにL型金具を取り付けて、小物入れに発砲スチロールを押し込んで取付けました。



これで、無線機の設置は完了です。

次回は、モバイルアンテナの取付けを紹介します。

終わり